

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月15日(2023.3.15)

【公開番号】特開2023-28954(P2023-28954A)

【公開日】令和5年3月3日(2023.3.3)

【年通号数】公開公報(特許)2023-041

【出願番号】特願2021-134953(P2021-134953)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

【手続補正書】

【提出日】令和5年3月7日(2023.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を制御可能な遊技制御手段を備える遊技機において、

前記遊技制御手段は、

表示手段にて通常遊技状態で遊技者が獲得した通常総賞球数と通常遊技状態で遊技者により発射された通常発射球数との割合である通常ベースを表示する表示制御処理を実行可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記特定計測数が予め定められた基準数以上になることに基づいて、遊技を実行不能に制御すると共に、前記表示制御処理を実行しないことを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

遊技機の外部に信号を出力可能な外部端子部を備え、

前記遊技制御手段は、

前記特定計測数が前記基準数以上になることに基づいて遊技を実行不能に制御すると、遊技が実行不能になったことを示す外端信号を前記外部端子部に出力することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の遊技機において、

操作に基づいて遊技球を発射可能な発射操作手段を備え、

前記遊技制御手段は、

前記特定計測数が前記基準数以上になることに基づいて遊技を実行不能に制御した後、前記発射操作手段に対する操作が行われても、遊技球を発射させないことが可能であることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

本発明の遊技機は、

遊技を制御可能な遊技制御手段を備える遊技機において、

前記遊技制御手段は、

表示手段にて通常遊技状態で遊技者が獲得した通常総賞球数と通常遊技状態で遊技者により発射された通常発射球数との割合である通常ベースを表示する表示制御処理を実行可能であり、

遊技者に付与される賞球数に基づく特定計測数を計測可能であり、

前記特定計測数が予め定められた基準数以上になることに基づいて、遊技を実行不能に制御すると共に、前記表示制御処理を実行しないことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50